

2024 年度 研究、教育、社会・学会活動報告書

1. 研 究（本年度のみ）

ふりがな	ふしみ やすこ		職 位	准教授	学 位	博士（経営学）
教員氏名	伏見 康子					
アルファベット表記	Fushimi Yasuko					
専門分野		会計学				
研究課題	テーマ	簿記会計教育に関する研究				
	概要	簿記教育および会計教育について研究を続けている。学生が大学で学んだ会計学や簿記の知識を、実際の企業活動や社会人としての活動などの実践の場において、より適切に活用できるような人材の育成を目指す。そのためのカリキュラムや講義内容、さらに具体的な教授法について検討していく。				
本年度 研究業績	研究テーマ	簿記教育、会計教育				
	経過と到達点	教育研究については、教材開発や教授法の研究をこれまで同様に継続して行ってきた。今年度は、会計学入門の授業にて取り組んできた授業運営の成果について、論文にまとめ、『京都経済短期大学論集』に掲載予定である。また、昨今、財務報告の実務においても、サステナビリティに関する情報開示が重要視されていることを踏まえ、それを会計教育の中にどのように位置づけ、扱っていくかを検討している。この成果の1つとして、本年度3月に学会報告予定である。				

（1）学術論文

	論文等の名称	発行年月 (西暦)	単・共著 の別	発表雑誌等	概要
①英文査読論文					
②和文査読論文					
③英文論文					
④和文論文					

⑤紀要論文	考えて学ぶための 会計教育	2025年2 月刊行予 定	単	京都経済短期大学 論集	会計学入門の授業においては、 理論を覚えるのではなく、会計 の目的を理解したうえで、会計 の観点からどのような判断を するべきかを考えられる能力 の養成を重視している。そのた めの演習問題を作成し、学生の 思考活動を取り入れた。また、 学生の回答を受講生全体で共 有することで、学生にとってよ り深い理解と視野を広げるこ とにつながっていると考えら れる。
⑥紀要研究 ノート、専門 誌記事等					
⑦学会での 口頭発表、討 論者(ディス カッサント)	サステナビリティ の時代における会 計教育	2025年3 月2日	単	日本会計研究学会 第74回関西部会 統一論題報告 於：神戸学院大学	統一論題(テーマ「サステナビ リティと会計」司会 久保田秀 樹氏)の1報告を担当(予定)。 近年、企業は利益追求のみなら ずサステナビリティの追及も 求められる。大学教育におい て、これらの情報の提供者にも 利用者にもなりうる学生に対 して、サステナビリティの意義 や情報開示の重要性を教授す ることの意義について検討し 報告する。
	サステナビリティ と会計	2025年3 月5日予 定	単	京都経済短期大学 経営・情報学会	サステナビリティが世界共通 の重要課題とされる中、会計報 告と併せて、サステナビリティ 開示が要請されるようになって いる。このような現代社会に おいて、会計が果たす役割につ いて考察し、報告する。

(2) 著書

	著書名	発行年月 (西暦)	発行所等の名称	概要
⑧共著書・ 共訳書				

⑨単著書・ 単訳書				
--------------	--	--	--	--

(3) 外部研究資金獲得(競争的資金獲得)

	研究テーマ (代表研究者名)	期間年月 (西暦)	研究項目の名称 (文科省科研費等)	概要
⑩共同研究 (研究代表)				
⑪単独研究				
⑫共同研究 (分担研究)				
⑬科学研究 助成事業(日 本学術振興 会)申請	※ 申請した場合は「申請」と記入。			

2. 教 育 (本年度のみ)

担当科目		前 期	後 期
		科目名	科目名
	講義	初級簿記、簿記特講Ⅰ、財務会計論	簿記特講Ⅱ、会計学入門、 中級簿記Ⅰ
	演習	基礎ゼミナール、ゼミナールⅡ	ゼミナールⅠ、ゼミナールⅢ
	実習		
教育内容・方法 の工夫	◆ 講義科目 簿記科目では、担当者4名との打合せを密に行い、協力体制を構築して授業を実施してきた。とくに、初級簿記から簿記特講Ⅰ、簿記特講Ⅱに進む際に、学生の習熟度を考慮してクラス分けを行うことで、より受講生に適した授業内容を展開することができた。これによって、学生の意欲を引き出すことができ、各学生の能力に合わせて検定合格の目標を達成できる支援ができた。 会計学入門や財務会計論などの理論科目では、最新の企業と会計にかかわる事例を取り上げたり、実際の企業の有価証券報告書や決算短信を学生に調査させたりした。それによって、会計実務における現状やさまざまな課題について、学生が興味を持って検討する姿勢が見られた。		

	◆ 演習科目 1 回生の基礎ゼミナールでは、グループを作って意見交換を行い、全員の前で発表するなど、学生の自立や主体的な姿勢の養成を図った。その結果、学生が主体的に運営し、さまざまな意見や考え方があることを理解し、積極的に発言もできるようになった。 ゼミナールⅡおよびⅢでは、月 1 回のペースで卒業論文を発表させ、学生が中心となって質疑応答をするよう進めた。他の学生の論文を参考にしながら、学生が互いに論文作成のスキルや表現方法などを高め合っていくことができた。 ゼミナールⅠでは、グループを作ってさまざまなテーマについて議論する活動を取り入れ、主体的に考えて発言する機会を増やした。また、簿記検定対策においては、学生同士で教え合う体制を作り、説明する力や簿記の理解を相互に高めることにつながられた。
	実習科目
	◆ その他（教科書・教材等の作成を含む。） 会計学入門や財務会計論などの理論科目において、近年の事例などを取り上げながら、事後課題や授業内課題としてのクイズや問題の作成を行った。 簿記のしくみについて、より理解を深めるための練習問題の作成を行った。

(1) 課外活動

①研修旅行 海外	
②研修旅行 国内	

3. 社会・学会活動（本年度のみ）

（1）公的委員会

分 類	活動・講演の概要
①委員長・座長 国・国際機関	
②委員長・座長 上記以外	
③委員・アドバイザー 国・国際機関	
④委員・アドバイザー 上記以外	

（2）学術団体の理事（日本学術会議協力学術研究団体）

分 類	活動・講演の概要
⑤理事長・会長	
⑥理事	

（3）講演会

分 類	活動・講演の概要
⑦講演者・登壇者・学会座長	大阪高等学校「進学前教育（外部連携講座）」において、「簿記会計入門」の講師として講義2回（2024年11月8日、11月26日、各日16:10～17:30）。

4. 特記事項（本年度のみ）

勉強会や課外活動を下記の通り実施した（予定も含む）。

1. 簿記検定対策勉強会（8月5日～9月22日 各3時間、全8回実施、全学生希望者対象）
 2. ゼミ内卒論発表会、1・2回生交流会（2023年12月10日（火）9:30～15:30）
 3. 工場・企業見学（2025年2月17日13:30～15:00 明治なるほどファクトリー大阪）
- 高槻市こども会連合会 監事（一般会計および特別会計の中間監査および決算監査を実施）